

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第38号 平成22年11月 7日

投げては林が負け無しの10連勝・・・

荒木が先制のタイムリー放つ！

	1	2	3	4	5	6	7	R
R	0	0	1	0	0	0		1
G	0	4	2	6	0	x		12



11/6 (土) 野島公園野球場に出向き、オープン戦を行った。ここの球場事情を良く知る、#17からの情報により、駐車場が混む可能性があるのでは、移動は早目に！との情報だったので、マリンでのアップを早々に切り上げ、現地に出向きましたが、駐車場に着いてみてびっくり・・・ 2つある駐車場はガラガラ、閑古鳥状態でした。後で確認したところ、BBQ場が整備のため、クローズされていたので、その影響かも？だって・・・

さて、ゲームは、その林がマウンドを託され、我がチーム後攻でゲームは始まった。初回、2回と全く危なげない投球の林、ゲームが動いたのは、2回の攻撃、先頭、次打者と四球で出塁、後続が中前安打で無死満塁、ここで、相手野手の失策の間に先制、続く打者の時にWPで2点目、そして、打席は何を血迷ったかビッグサイズの#26ヘルメットを被り打席に入った、腕力荒木、その荒木が2球目をクリーンに右中間に運び、得点を積み重ねた。狭いこの球場で無ければ、恐らく彼の足でも2ベースになっていたであろう、打球であった。しかし、ペーランの経験の浅さか、1塁を回ったところで、こけたのは、しっかり写真館にのっているの、確認して欲しい。マリンの20番後半トリオ(26・27・29)で繰り広げている、ささやかな打撃争いも、数では、26が上位だが、ムードでは、恐らく彼が上位にいった感じがする。さて、ゲームの方だが、この後、林は1点を失うもその1点のみに、抑え、マウンドを後にした。ここで、今日のナイス・プレイ！

4回相手の攻撃、1死1、2塁の場面、打者打球は、サードのやや後方に上がったフライ、これをサードがいつもの様に軽く裁こうと捕球体勢に入ったところ、若干打球が伸び、捕球エラーをしてしまった。しかし、この落球したボールをレフトのタカアキが懸命にサードベース目掛けて走り、その後ベースカバーに入った林にトスし、アウトをゲット。また、5回には、1死1塁の場面、相手打者が打った打球は、ショートとレフトの間の嫌な位置、しかし、これをレフトジローが懸命に走りキャッチ、いつもは、取れた余韻で、終わってしまうところだが、その後2塁に送球し、DPをゲット、この2つのプレーは、点をやらない、進塁を許さないという気迫のプレーに感じた。ただ、その前のたかあきは、凡プレーで、林から渴を！ジローに関しては、その後のフェンスに当たった打球処理を誤り、進塁させてしまっただけに、結果はおあいこかも知れない・・・

さー、残すところも数える位になってきたので、勢いは継続し、勝利をゲットしよう！

審判のキャプテン、お大事に・・・ ベンチの声は品良くね！